



第48号 (昭和38年11月)

目次

関係法令..... 1

諸会議..... 2

人事異動..... 2

学内諸報

横田学長に北日本文化賞..... 2

永年勤続者の表彰..... 2

教育学部附属学校長改選..... 3

体育館の開館式..... 3

部局対抗ソフトとバレー大会..... 3

昭和39年度経済学専攻科学生募集要項(抜粋) ... 3

昭和39年度工学専攻科学生募集要項(抜粋) ..... 4

昭和39年度富山大学経営短期大学部学生募集要項(抜粋) ..... 4

昭和39年度国立富山工業高等専門学校入学候補者募集要項(抜粋) ..... 5

国立富山工業高等専門学校入学案内(抄) ..... 5

共済組合だより

箱根湯木の青風荘新築落成について..... 6

職員消息..... 6

主要日誌..... 6

関係法令

規則

人事院 1— 4 現行の法律、命令及び規則の廃止の一部を改正する規則 38.11.4 官報

人事院 15— 1 勤務を要しない時間の全部を改正する規則 38.11.4 〃

人事院は、国家公務員法に基づき、人事院規則1— 4(現行の法律、命令及び規則の廃止)の一部を次のように改正する。 昭和38年11月4日 人事院総裁 佐藤達夫

第27項の次に次の一項を加える。

28 次に掲げる規則は、廃止する。(昭和38年11月4日施行)

- 規則 15— 0
- 規則 15— 2

人事院は、国家公務員法及び一般職の職員の給与に関する法律に基づき、人事院規則15— 1(勤務を要しない時間)の全部を次のように改正する。

昭和38年11月4日 人事院総裁 佐藤達夫

人事院規則15— 1(昭和38年11月4日施行)

職員の勤務時間等の基準

(総則)

第1条 職員の勤務時間、休憩時間、勤務を要しない日等の基準及びその実施に関しては、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

第2条 各庁の長(給与法第7条に定める各庁の長をいう。以下同じ。)は、この規則の実施に当たっては、勤務能率の発揮及び増進について配慮するとともに、業務の性質、地域的事情等の特殊事情並びに職員の健康及び福祉を考慮することにより職員に対する適正な勤務条件の確保に努めなければならない。

(職員の勤務を要する時間)

第3条 職員の勤務を要する時間は、給与法第14条に規定する勤務時間(以下「正規の勤務時間」という。)及び第10条の規定により勤務を命ぜられた時間とする。

2 職員は、勤務を要する時間以外の時間を自由に利用することができる。

(1週間の勤務時間)

第4条 給与法第14条第1項の規定に基づく勤務時間は、1週間について44時間とする。

(正規の勤務時間の割振りの権限)

第5条 前条に規定する勤務時間の割振りについては、会計検査院の職員にあつては会計検査院が、人事院の職員にあつては人事院が、その他の職員にあつては内閣総理大臣がそれぞれ定めるものとする。

2 給与法第14条第2項又は第3項の規定に基づく勤務時間の割振りについては、各庁の長が定めるものとする。

(勤務時間の割振りの基準)

第6条 第4条に規定する勤務時間は、特に支障のない限り、月曜日から金曜日までの5日間においては1日につき8時間となるように、土曜日においては4時間となるように割り振るものとする。

2 各庁の長は、28日をこえない期間ごとに、正規の勤務時間を割り振られた日6日につき1日の割合で勤務を要しない日を設ける場合には、給与法第14条第4項ただし書の規定に基づく別段の定めをすることができる。この場合において、正規の勤務時間を割り振られた日が引き続き24日をこえないようにしなければならない。

(休憩時間)

第7条 各庁の長は、正規の勤務時間の途中において、お

おむね毎4時間の所定の勤務の後に、30分以上の休憩時間を置かなければならない。

(休憩時間)

第8条 各庁の長は、できる限り、正規の勤務時間につき15分の休憩時間を置かなければならない。

2 休憩時間は、正規の勤務時間に含まれるものとし、これを与えられなかつた場合においても、繰りこされることはない。

3 休憩時間は、勤務時間の始め又は終りに置いてはならない。

(勤務時間の割振り、休憩時間及び休憩時間の特例)

第9条 各庁の長は、業務若しくは勤務条件の特殊性又は地域的若しくは季節的事情により、前3条の規定によるときは、能率を甚しく阻害し、又は職員健康若しくは安全に有害な影響を及ぼす場合において、これらの規定により難いときは、人事院の承認を得て、勤務時間の割振り、休憩時間及び休憩時間につき別段の定めをすることができる。

(正規の勤務時間以外の勤務)

第10条 各庁の長は、公務のため臨時又は緊急の必要がある場合には、正規の勤務時間以外の時間においても、職員に勤務することを命ずることができる。

2 各庁の長は、前項の規定により、職員に勤務することを命ずる場合には、職員の健康及び福祉を害しないように考慮しなければならない。

(経過規定)

第11条 昭和38年11月3日における規則15-0(職員の勤務時間)、規則15-1(勤務を要しない時間)及び規則15-2(休憩時間)の規定に基づいて行なわれた決定、処分その他の行為は、この規則の相当規定に基づいて行なわれたものとみなす。

諸 会 議

第9回評議会 (11月15日)

(議 題)

1. 昭和39年度経済学専攻科学生募集要項について
2. 昭和39年度工学専攻科学生募集要項について
3. 入試配点について

人 事 異 動

| 現 官 職            | 氏 名     | 異 動 内 容       | 発令年月日      | 発 令 庁   |
|------------------|---------|---------------|------------|---------|
| 助 教 授<br>(工 学 部) | 大 井 信 一 | 教授に昇任させる      | 38. 11. 1  | 文 部 省   |
| 助 手<br>(文 理 学 部) | 松 井 巖   | 講師に昇任させる      | 38. 12. 1  | 富 山 大 学 |
| 事 務 官<br>(工 学 部) | 門 島 政 己 | 大阪税関に出向させる    | 38. 11. 1  | 〃       |
|                  | 近 岡 忠 夫 | 事務員(工学部)に採用する | 38. 11. 8  | 〃       |
|                  | 辻 沢 征 江 | 〃             | 38. 11. 16 | 〃       |
|                  | 松 下 健 作 | 〃             | 38. 11. 25 | 〃       |
| 事 務 員<br>(工 学 部) | 南 雲 修   | 庶務課に配置換する     | 〃          | 〃       |

学 内 諸 報

横田学長に北日本文化賞

北日本新聞社が、地方文化の振興と地方自治発展につくした人をたたえる「北日本文化賞」の表彰式は、菊かおる「文化の日」の3日午前10時から吉田県知事ら来賓を迎え北日本新聞社講堂でおこなわれた。

この日、本学横田嘉右衛門学長も、米沢元健、牧野平五郎氏らとともに晴れの受賞者として選ばれたが、横田学長受賞の理由はつぎのとおり。

昭和19年以来、富山薬専校長、富大薬学部長を17年連続つとめ、幾多の薬学者を全国におくり県下の薬事振興に尽

力、配置家庭薬業界近代化の推進力となつた。また学長就任後は富大各学部の拡充、施設の充実につとめ、とくに和漢薬研究所の創設、修士制度を確立した。

永年勤続者の表彰

多年本学(包括旧制学校を含む)および教育関係に勤務精励した職員に対する表彰が、勤労感謝の日を期し、本学後援会と共催でおこなわれ、下記9氏に感謝状と記念品が贈呈された。

記

1. と き 11月22日(金) 午前11時
2. と ころ 本部会議室
3. 永年勤続者

文理学部 (助教授) 森 谷 佐三部  
 " ( " ) 佐 口 透  
 教育学部 ( " ) 蔵 島 茂  
 " ( " ) 岩 田 弘  
 " ( " ) 大 沢 欽 治  
 " (教 諭) 島 田 秀 信  
 経済学部 (教 授) 花 井 益 一  
 " (事 務 官) 扇 谷 甚 右 衛 門  
 附属図書館(事務長) 那 智 平 八 郎

### 教育学部附属学校長改選

教育学部附属小学校長(附属幼稚園長兼務)玉生正信, 同附属中学校長和田徳一の両教授は, 12月15日で任期満了のため, 11月20日教育学部教授会において, 次のとおり次期附属学校(園)長候補者を選定した。

記

1. 附属小学校長 教授 沢 泉 重 夫  
附属幼稚園長
  2. 附属中学校長 教授 高 森 乙 松
- なお, 任期は2年, 12月16日付で発令の予定。

### 体育館の開館式

学報第46号(9月号)に既報のとおり, 本学体育館は, このほど完成, 富山大学設置期成同盟会から本学に寄附されたが, その開館式は披露をかねて, 11月16日(土)午後吉田知事らを迎えておこなわれた。

なお, 開館式について, 記念行事としてレギレーショントランポリンの模範演技と, 教育学部体育専攻生や創作舞踊部学生によるモダンバレエの公開があつた。

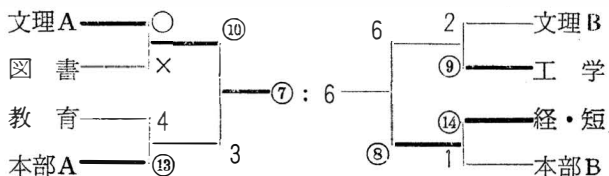
### 部局対抗ソフトとバレー大会

昭和38年度富山大学職員部局対抗のソフトボールとバレーボール大会は, それぞれ下記のとおりおこなわれた。

記

#### 〔ソフトボール大会〕

1. と き 11月5日(火) 午前9時~
2. と ころ 本学グラウンド
3. 試合経過 (部局対抗トーナメント)



4. 競技成績 優勝 文理学部(A)チーム  
次勝 経済・短大連合チーム

#### 〔バレーボール大会〕

1. と き 11月30日(土) 12時30分~
2. と ころ 本学体育館

### 3. 試合経過 (予戦リーグ・決勝トーナメント)

|     |   |   |   |   |     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|
| (A) | 薬 | 工 | 本 | 計 | (B) | 経 | 文 | 教 | 計 |
|     | 薬 | 0 | 0 | 0 |     | 経 | 2 | 0 | 2 |
|     | 工 | 2 | 1 | 3 |     | 文 | 0 | 0 | 0 |
|     | 本 | 2 | 2 | 4 |     | 教 | 2 | 2 | 4 |

(A1) 本 部 ②  
 (B2) 経・図・短 0  
 (A2) 工 学 0  
 (B1) 教 育 ②

1. 4. 競技成績  
 優勝 教育学部  
 チーム  
 次勝 本部(事務局)  
 学生部

### 昭和39年度富山大学経済学専攻科

#### 学生募集要項 (抜粋)

- ① 募集人員  
経理経営専攻 10名
- ② 入学資格  
1. 経理経営専攻と関連ある経営学科, 商学科及び経済学科を終了した大学卒業者  
2. (略)
- ③ 出願手続  
入学志願者は次の書類を一括して入学検定料1,500円を添え出身大学を経由の上, 富山大学経済学部学務係へ提出のこと。  
1. 入学願書, 履歴書  
2. 写真2葉  
3. 調査書  
4. 卒業(又は卒業見込)証明書  
5. 健康診断書  
6. 返信用封筒
- ④ 願書受付期間  
昭和39年3月21日(土)より  
昭和39年3月30日(月)まで
- ⑤ 選考方法・期日・場所及び学力検査学科目  
合格者の決定は出身大学の調査書, 学力検査及び健康診断等の総合判定による  
学力検査  
昭和39年4月7日(火)午前9時より  
健康診断  
昭和39年4月7日(火)午後3時より  
検査場所  
富山大学経済学部  
学力検査学科目及び時間割

|         |                          |             |         |
|---------|--------------------------|-------------|---------|
| 時 間     | 9.00—12.00               | 13.00—14.30 | 15.00   |
| 検 査 目 的 | 経営, 商学, 経済のうちより2題選択 (論文) | 英 語         | 健 康 診 断 |

⑥ 合格者発表

昭和39年4月13日(月)

本学部に掲示すると共に本人に通知する  
その他

1. 出願書類の郵送は必ず書留郵便とすること
2. その他詳細については富山大学経済学部学務係に照会せられたい。

昭和39年度富山大学工学専攻科  
学生募集要項 (抜粋)

① 募集人員

電気工学専攻 5名 工業化学専攻 5名  
金属工学専攻 5名 機械工学専攻 5名

② 出願資格

1. 工学専攻と関連ある理科系学部学科を修了した大学卒業者
2. (略)

③ 出願期限及び願書提出先

1. 出願期限 昭和39年3月1日～15日迄
2. 提出先  
高岡市古定塚  
富山大学工学部学務係

④ 出願書類等

1. 入学願書・履歴書
2. 最終出身学校の調査書及び卒業証明書又は卒業見込証明書
3. 健康診断書
4. 写真
5. 検定料1,500円
6. 現に職にある者は所属長の受験許可書
7. 返信用封筒

⑤ 選考方法・期日及び場所

入学者の選考は出身学校の調査書・学力試験及び健康診断によって行う。

学力試験 3月25日(水)午前9時より

健康診断については当日指示する。

試験場所 富山大学工学部

⑥ 入学許可者発表

3月31日工学部内に掲示し同時に本人へ通知する。

⑦ 一般注意事項 (略)

その他

詳細については富山大学工学部学務係に照会せられたい。(電話高岡2局2510番)

なお出願書類等の請求・その他照会等には返信用封筒(切手貼付)を同封のこと。

昭和39年度富山大学経営短期大学部  
学生募集要項 (抜粋)

① 募集人員

経営科第二部 80名

② 出願資格 (略)

③ 出願期限

昭和39年2月18日(火)から2月27日(木)まで

郵送の場合も2月27日(木)まで必着のこと

受付は日曜日を除き毎日午前10時から午後6時まで、ただし土曜日は正午までとする。

④ 出願手続

つぎの書類等取りまとめ出身学校長から提出すること  
郵便によるものは書留とし、封筒の表に「入学願書」と朱書すること。

1. 入学志願票
2. 写真票
3. 調査書
4. 健康診断証明書
5. 入学検定料 1,500円
6. 返信用封筒
7. 受験承認書

⑤ 入学願書提出先

富山市五福3190番地 富山大学経営短期大学部

⑥ 入学者の選抜方法

入学者の選抜は学力検査、調査書および健康診断の各成績を総合して行う。

1. 学力検査

次の4教科について、高等学校卒業の学力程度を標準として検査する。

| 教科 | 国語科              | 社会科                     | 数学科   | 外国語科 |
|----|------------------|-------------------------|---|------|
| 科目 | 国語(甲)<br>(漢文を除く) | 社会、商業簿記のうちいずれか1科目を選択する。 | 数学Ⅰ<br>統計、対数表による計算および計算尺の原理、いろいろな曲線、正射影および投影図ならびに三角函数を除く。 | 英語   |

2. 健康診断

3月25日(水)午後3時15分から診断を必要と認めた者について実施する。該当者の受験番号及び検査の詳細は学力検査終了後検査場に掲示する。

3. 検査日及び時間表

| 月日(曜)        | 時            | 間             | 検査教科 |
|--------------|--------------|---------------|------|
| 3月25日<br>(水) | 午前 9 時       | ～ 同 10 時      | 国語   |
|              | 午前 10 時 30 分 | ～ 同 11 時 30 分 | 外国語  |
|              | 午後 零 時 30 分  | ～ 同 1 時 30 分  | 社会   |
|              | 午後 2 時       | ～ 同 3 時       | 数学   |
|              | 午後 3 時 15 分  | ～             | 健康診断 |

## 4. 検査場所

富山大学経営短期大学部 富山市五福3190番地

## ⑦ その他

受験手続に関する詳細は経営短期大学部へ照会すること。  
なお合格者は3月31日(火)午後5時本学に掲示し、且つ、本人へ通知する。

昭和39年度

## 国立富山工業高等専門学校

## 入学候補者募集要項 (抜粋)

## I. 募集人員

|       |     |          |
|-------|-----|----------|
| 機成工学科 | 40名 | } 計 120名 |
| 電気工学科 | 40名 |          |
| 工業化学科 | 40名 |          |

## II. 出願資格

1. 中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した者(昭和39年3月卒業見込みの者を含む)
2. 監督庁の定めるところにより中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者

## III. 入学願書受付期限

昭和39年1月30日(木)から昭和39年2月8日(土)までとする。

## IV. 出願方法

1. 志願者は出身中学校長を経て次の書類等を作成し、国立富山工業高等専門学校入学候補者選考委員会に申込む。  
郵便によるものは書留とし、封筒の表に「高専入学願書」と朱書すること。
2. 提出書類等
  - (1) 入学願書
  - (2) 調査書
  - (3) 健康診断証明書
  - (4) 写真
  - (5) 通信用封筒
3. 入学検定料 1,500円

## 留意事項

- (1) 用紙は入学候補者選考委員会で準備したものを使用する。受験希望者は、用紙を委員会に直接または自己のあて名を記し10円切手を貼付した封筒を同封の上申し込むこと。
- (2)~(5) (略)

## V. 入学願書提出場所

富山市五福3,190 富山大学学生部内  
富山工業高等専門学校係

## VI. 選考方法

1. 選考は、学力検査、出身中学校長からの調査書および健康診断証明書にもとづいて行なう。

## 2. 学力検査

- (1) 学力検査は筆答試験とする。
- (2) 出題する教科は、国語、社会、数学、理科および英語の5教科とする。
- (3) 検査日時

|              |                     |                    |         |
|--------------|---------------------|--------------------|---------|
| 2月22日<br>(土) | 午後2時~3時             | 午後3時30分<br>~ 4時30分 |         |
|              | 国語                  | 数学                 |         |
| 2月23日<br>(日) | 午前9時30分<br>~ 10時30分 | 午前11時~12時          | 午後1時~2時 |
|              | 社会                  | 理科                 | 英語      |

## 3. 健康診断

2月23日午後2時30分より診断を必要と認めたものについて実施する。

## 4. 学力検査の実施場所

富山市芝園町3の1 富山市立芝園中学校

## 5. 入学候補者の発表

昭和39年3月5日(木)午前9時富山大学に掲示するとともに本人に対しては現住所あて通知する。

## 6. 受験上の注意 (略)

## VII. その他

1. 合格者の発表は、入学候補者として行ない、昭和39年4月以降学校が発足した際、正式に学校長名によりあらためて入学許可を行なう。
2. 結核性疾患、伝染性疾患、色盲、強度の色弱、身体障害等で就学に耐えないと認められる者は入学を許可しないことがある。
3. 入学決定後健康診断証明書の記載と相違する事実が発見された場合は入学を取消すことがある。
4. 授業料、入学料等は次のとおりである。  
授業料年額 9,600円  
入学料 1,500円
5. 昭和39年4月より収容人員56名の寄宿舎を開設する。

## 国立富山工業高等専門学校入学案内

1. 創立 昭和39年4月1日
2. 目的 深く工業に関する専門の学芸を教授し、職業に必要な各種の能力を育成することを目的としている。
3. 修業年限 5カ年
4. 学科と募集定員 機械工学科 電気工学科 工業化学科 各40名
5. 校地・校舎 所在地 富山市本郷町  
校地は約30,000坪、校舎等は鉄筋コンクリート造りで約825坪を建築中(将来約3,100坪の校舎が完成する予定)
6. 寄宿舎 自宅から通学が困難なもののために寄宿舎を

設け、入学者の約半数が収容できる。(約210坪を建築中であるが、将来約714坪の寮が完成する予定)

7. 入学時に要する経費 (1) 入学料 1,500円  
 (2) 授業料 前期分 4,800円 (3) 教科書費、教材費等 約5,000円 入寮する場合 寄宿料 月額300円 食費その他雑費約4,000円~4,500円

8. 奨学金 (略)

共済組合だより

箱根湯本の青風荘

—— 新築落成について ——

共済組合連合会箱根湯本の青風荘は、新築中のところ、このほど落成し、次のとおり12月1日から開所される。

記

名 称 共済組合連合会箱根湯本保養所 青風荘  
 所在地 神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋185  
 電 話 箱 根 (5) 5 1 2 4  
 宿 泊 定員90名 室数=26室  
 利用料金 1泊2食750円  
 その他詳細は、連合会本部施設課へ照会のこと。

職 員 消 息

<住所変更>

教育学部

教授 和田 徳 一  
 教諭 森田 弘

薬学部

教授 榎本 三郎  
 助教授 吉井 英 一

技 官 星野 重 孝

工学部

事務員 山口 清 一

短期大学部

助手 藤本 利 躬

主 要 日 誌

本 部

- 11月 3日 文化の日  
 “ 学長、北日本文化賞受賞(北日本新聞社)  
 4日 富山工専入学候補者選考委員会

- 5日 学内職員部局対抗ソフトボール大会  
 6日 服務制度説明会(金沢)  
 “ 国大協第3・4常置合同委員会  
 6・7日 文理学部関係国立大学長会議(学士会館)  
 7・8日 国立大学協会総会  
 8日 入試管理委員会  
 “ 大学学術局学生課久保田、宮沢両事務官来学  
 9日 東海北陸地区会計部課長会議  
 11日 日本育英会秋季地区別大学事務協議会(金沢大)  
 “ 原子力同位元素委員会  
 15日 評議会(第9回)  
 16日 大中臣衆議院文教委員来学  
 “ 体育館開館式  
 “ 入試専門委員会  
 “ 本部親和会懇親会(草津鉱泉)  
 18日 説田学術情報主任官来学  
 18~20日 共済組合(短期)事務担当者打合会(本郷会館)  
 20日 富山工専入学候補者選考委員会  
 22日 永年勤続者表彰式  
 “ インフルエンザ予防接種  
 22~24日 北陸3県・大学芸術交歓祭  
 23日 勤労感謝の日  
 25・26日 共済組合(長期)事務担当者打合会  
 26日 補導協議会  
 28日 事務協議会  
 30日 学内職員部局対抗バレー大会

文 理 学 部

- 11月 6日 教授会、人事教授会  
 7日 県教委との就職協議会  
 9・10日 学部職員秋季レクリエーション(宇奈月)  
 11日 会計内部監査  
 20日 学部補導委員会  
 22・29日 インフルエンザ予防接種  
 26日 文学科会議、理学科会議  
 27日 人事教授会

教 育 学 部

- 11月 6日 教務・職業補導合同委員会  
 7・8日 日本教育大学協会北陸地区第2部会美術科研究協議会  
 8日 学部紀要編集委員会  
 11日 学部補導委員会  
 “ 附属学校長候補者選考委員会  
 13日 人事教授会  
 14日 大学問題対策委員会と教務委員会の合同会議  
 18日 教科別就職協議会

- 19日 学部補導委員会  
 20日 学部紀要編集委員会  
 // 教授会  
 25日 郡市教育機関関係者との就職協議会  
 27日 学部補導委員会

**経済学部**

- 11月14日 教授会(第14回)  
 18日 国立大学経済学部長会議(虎の門共済会館)  
 21日 40周年沿革史編集委員会

**薬学部**

- 11月1~3日 日本薬学大会(東京薬科大学)  
 2日 遠久朶寮祭(学生主催)  
 6日 講座主任会議  
 7日 大学学術局学生課久保田八郎事務官来学  
 7~10日 奥田祭(学生主催)  
 12日 千葉大学薬学部長湊頭教授来学  
 13日 人事教授会, 薬学研究科委員会  
 // 学部補導委員会  
 14日 金沢大学薬学部長荒田義雄教授来学  
 17日 学部職員レクリエーション(小川温泉)  
 // 金沢大学薬学部との学生交歓会  
 18日 京都大学薬学部上尾庄次郎教授来学  
 19日 長崎大学薬学部事務長馬瀬敏頭, 会計係長中島雅人の両氏来学  
 25・26日 会計事務監査  
 28日 東京工業大学崎川範行教授来学  
 // インフルエンザ予防接種

**工学部**

- 11月 3日 学部職員秋季レクリエーション(千寿ヶ原)  
 7日 消火器取扱い演習  
 8日 大学学術局学生課久保田八郎, 宮沢典雄の両事務官来学  
 11日 工学部生協開店(食堂も開設)  
 13日 一般教授会  
 // 自衛隊舞鶴管区安達一佐, 富山地方連絡部山口二佐の両氏来学  
 20日 専任教授会  
 27日 一般教授会, 専任教授会  
 28日 インフルエンザ予防接種(1回目)  
 28~29日 学部会計事務監査

**附属図書館**

- 11月11日 薬学部分館移転作業開始  
 12日 図書館商議会(第3回)  
 13日 本館内事務打合せ  
 29日 工学部分館会計事務実地監査  
 30日 薬学部分館移転作業終了

**経営短期大学部**

- 11月 6日 教育会議

昭和38年12月20日

印刷所 昭和印刷株式会社

